



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会社名 ワ タ ミ 株 式 会 社
(コード番号 7522 東証第一部)
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 清 水 邦 晃
問合せ先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 小 田 剛 志
(TEL 03-5737-2784)

業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、下記の通り特別損失の計上をすることをお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	100,000	100	200	200	5 円 35 銭
今回発表実績(B)	100,312	182	717	△1,833	△46 円 89 銭
増減額(B - A)	312	82	517	△2,033	—
増減率(%)	0.3	82.0	258.5	—	—
<ご参考>前期実績 (平成 28 年 3 月期)	128,246	△290	△1,132	7,810	209 円 13 銭

【差異の理由】

当連結会計年度においては、国内外食事業の立て直しに注力し、平成 28 年 6 月より「和民」からの業態転換として「ミライザカ」、平成 28 年 7 月からは「わたみんな」からの業態転換として「三代目鳥メロ」を展開するなど、売上獲得、収益改善施策を講じてまいりました。これらの取り組みが奏功し、当連結会計年度において既存店売上高前年比は 103.3%、既存店客数前年比も 101.2%となり、国内外食事業の業績は大きく改善することとなりました。

また、宅食事業においても商品製造拠点における生産性向上の取り組みが奏功したこと等により、売上高、営業利益及び経常利益が予想を上回る見込みであります。しかし、下記「2. 特別損失の計上について」に記載の通り、特別損失の計上を行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純損失となる見込みであります。

2. 特別損失の計上について

当連結会計年度においては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った国内外の外食店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった国内外の外食店舗等について減損処理を実施し 21 億円の減損損失の計上を行います。

以 上